

2023年3月期 決算説明資料

ヨネックス株式会社（証券コード：7906）

2023年5月11日

□売上高は107,019百万円、前期比43.7%増

- ・ インフレや景気減速傾向、地政学リスク等の懸念要素はありながらも、世界各地でスポーツ需要が活性化し、過去最高値を計上
- ・ 海外子会社は現地通貨ベースでも増加、円安により業績換算も上押し

□営業利益は10,063百万円、前期比49.3%増

- ・ 原材料価格上昇、円安による仕入コスト増の売上総利益への影響もあるが、増収による売上総利益増加の影響が大きく過去最高益
- ・ マーケティング活動への注力により広告宣伝費を中心に販管費は増加

□来期の見通し

- ・ 23/3期の水準をベースとして緩やかに成長を維持
- ・ マーケティング、人財等への積極的な投資により、中長期の成長に向けた基盤づくりに取り組む

(単位：百万円)	22/3期	23/3期	前期比	
			増減	比率
売上高	74,485	107,019	+32,534	+43.7%
売上総利益	33,395	45,905	+12,510	+37.5%
売上総利益率	44.8%	42.9%	-	-1.9pt
販管費	26,656	35,842	+9,185	+34.5%
営業利益	6,738	10,063	+3,324	+49.3%
営業利益率	9.0%	9.4%	-	+0.4pt
経常利益	7,246	9,961	+2,715	+37.5%
親会社株主に 帰属する当期純利益	5,780	7,331	+1,551	+26.8%
EPS (円)	66.11	84.05	+17.94	+27.1%
ROE	13.6%	14.9%	-	+1.3pt

連結貸借対照表

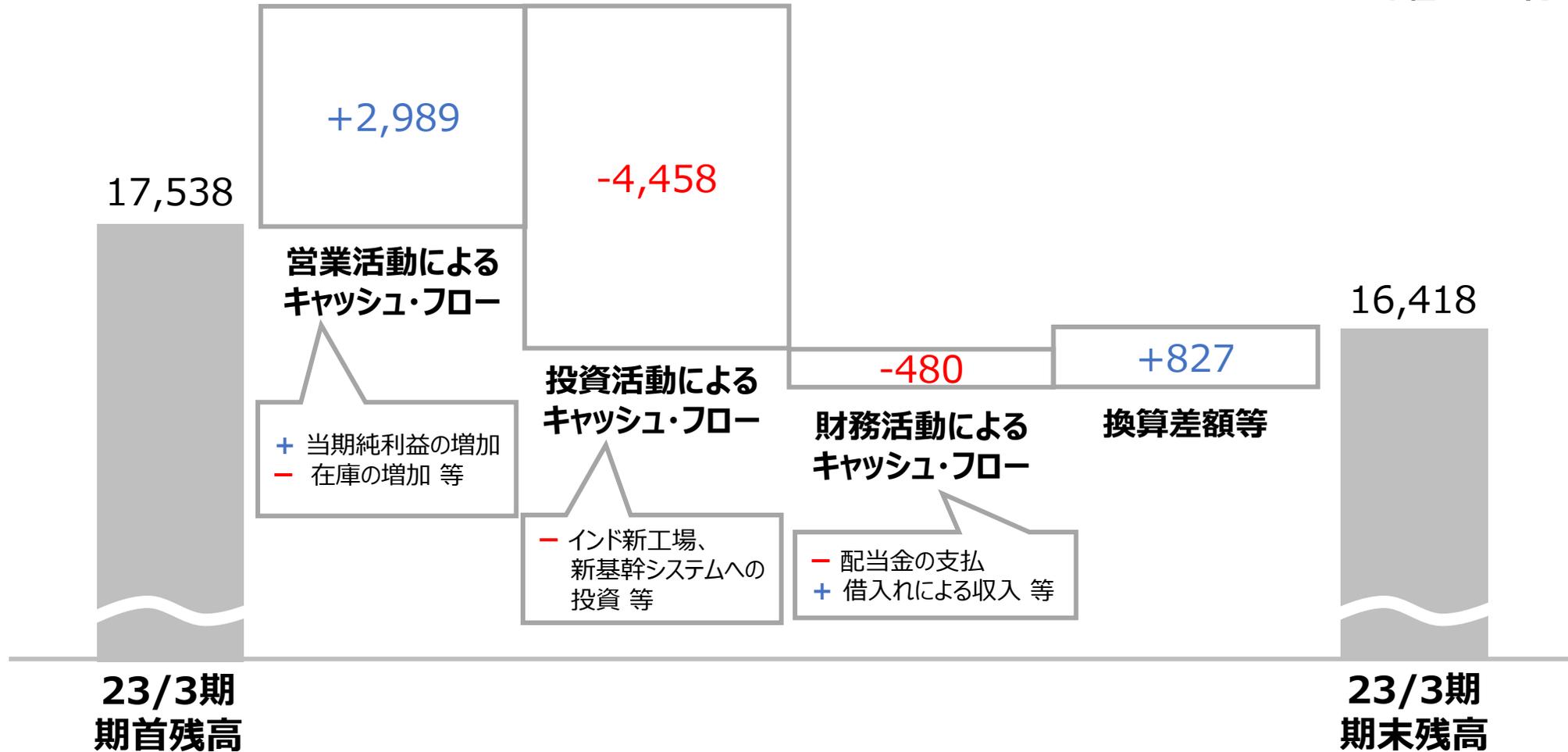


(単位：百万円)		22/3期末	23/3期末	増減
資産の部	流動資産	44,841	53,465	+8,624
	現預金	17,922	16,912	-1,010
	売掛金・受取手形	12,676	15,030	+2,353
	棚卸資産	11,792	18,832	+7,040
	固定資産	21,457	25,955	+4,497
	資産合計	66,299	79,421	+13,122
負債の部	負債合計	20,569	26,321	+5,752
	有利子負債	2,447	4,026	+1,579
	純資産合計	45,729	53,099	+7,370
	自己資本比率	68.8%	66.6%	-2.2pt
	負債純資産合計	66,299	79,421	+13,122

連結キャッシュ・フロー



単位：百万円

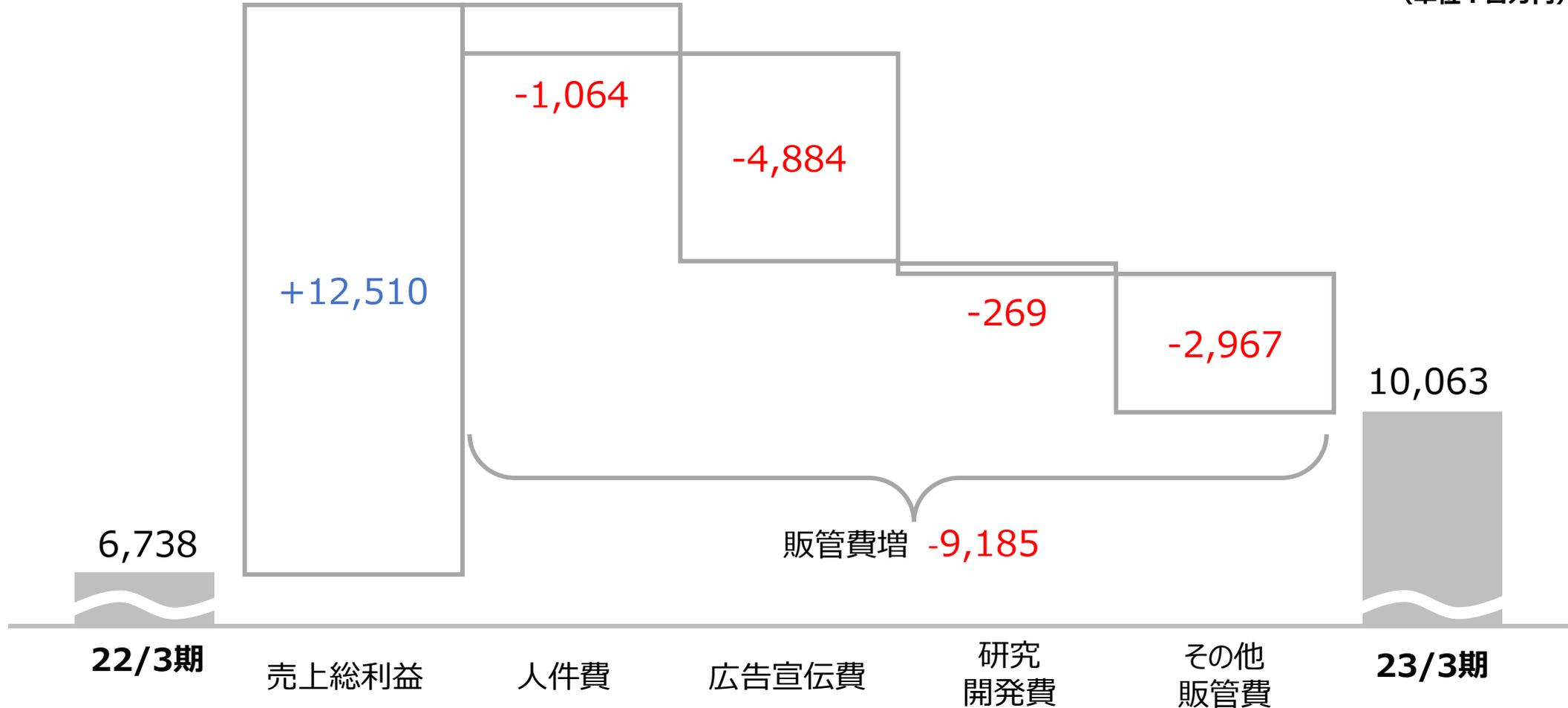


連結営業利益 増減要因



広告宣伝費を中心に販管費は増加も、売上総利益の増加が上回り増益

(単位：百万円)



セグメント別売上高・営業利益



(単位：百万円)		22/3期	23/3期	前期比	
スポーツ用品事業	日本	売上高	37,515	47,750	+27.3%
		営業利益	1,494	1,478	-1.1%
	アジア	売上高	30,968	49,662	+60.4%
		営業利益	4,977	8,821	+77.2%
	北米	売上高	3,194	5,257	+64.6%
		営業利益	274	423	+54.3%
	ヨーロッパ	売上高	2,336	3,815	+63.3%
		営業利益	74	171	+128.8%
スポーツ施設事業	売上高	469	533	+13.7%	
	営業利益	38	58	+53.1%	

※当連結会計年度の期首より、テニスボール製造のYONEX TECNIFIBRE CO., LTD. (タイ) の業績をアジアセグメントに計上

日本セグメント：国内、子会社担当地域以外で販売する海外代理店向け輸出・仲介売上（東南アジア、インド、韓国、デンマーク等）
 アジアセグメント：中国・台湾子会社、インド・タイ子会社（製造）
 北米セグメント：北米子会社（アメリカ・カナダ）
 ヨーロッパセグメント：イギリス・ドイツ子会社

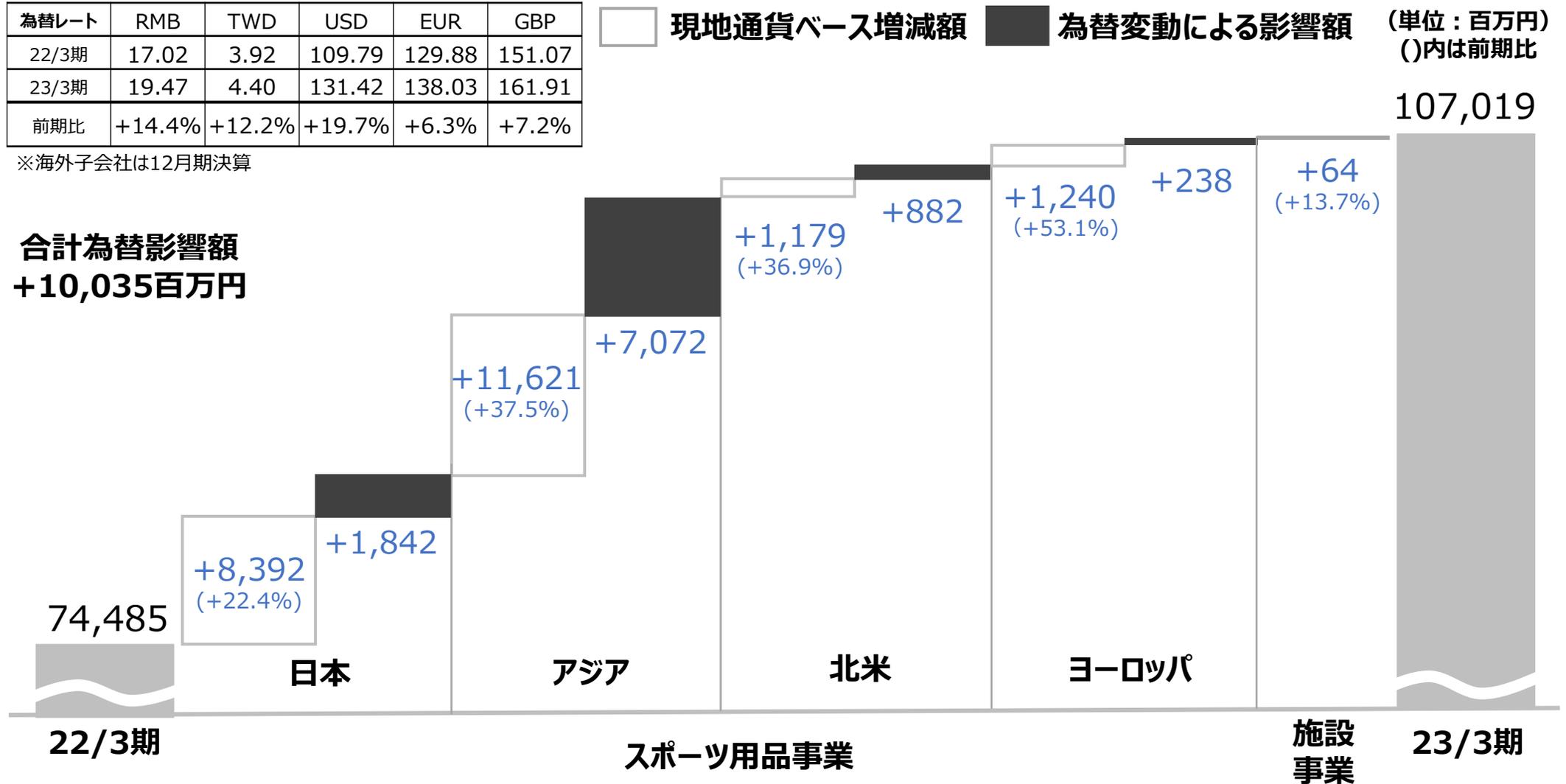
セグメント別売上高増減と為替影響



為替レート	RMB	TWD	USD	EUR	GBP
22/3期	17.02	3.92	109.79	129.88	151.07
23/3期	19.47	4.40	131.42	138.03	161.91
前期比	+14.4%	+12.2%	+19.7%	+6.3%	+7.2%

※海外子会社は12月期決算

合計為替影響額
+10,035百万円

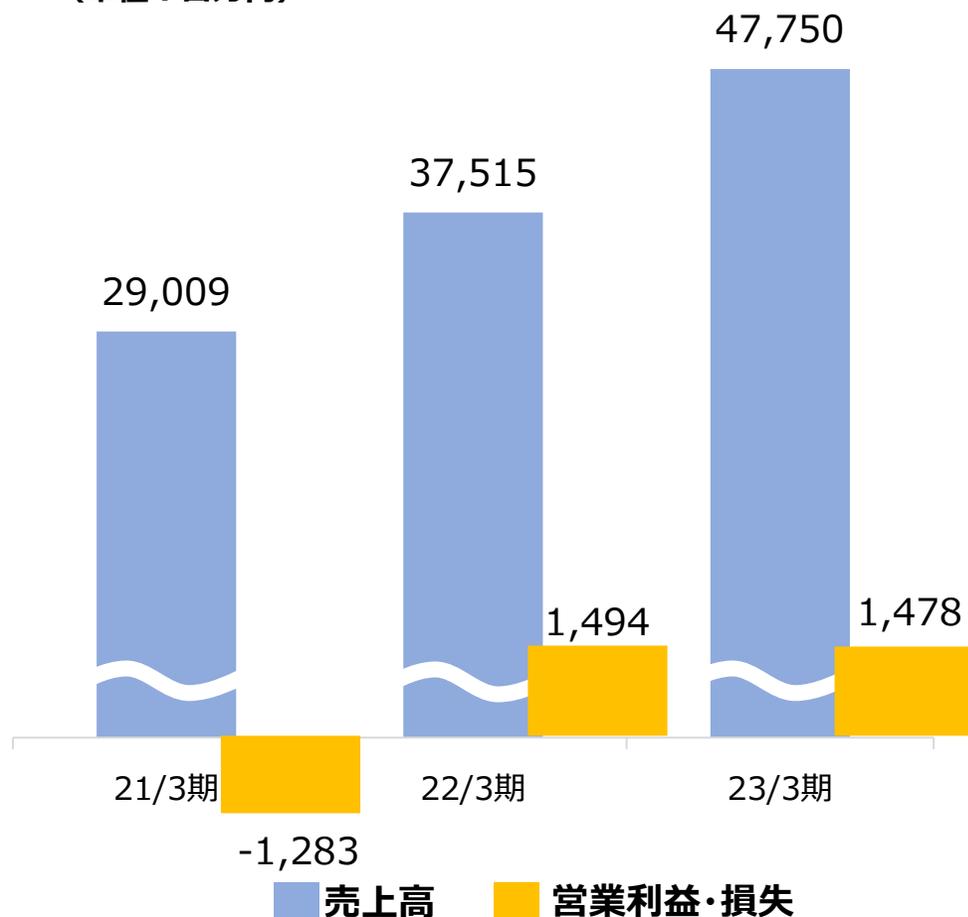


スポーツ用品事業セグメント別売上高・営業利益



日本

(単位：百万円)



売上高 (前期比 +27.3%)

- ・ 国内
 - バドミントン、ソフトテニスは部活動需要が回復し、テニスはラケットを中心に継続的に販売増加
 - 各種目で新製品が支持を得て、ラケット、シューズ、ウェアの販売伸長
- ・ 海外代理店向け
 - スポーツ活動が本格的に再開し需要活性化
 - バドミントンの国際大会再開による競技の盛り上がり、当社契約選手活躍による注目の高まりもあり大幅増収

営業利益 (前期比 -1.1%)

- ・ 原材料価格の上昇、円安による輸入品の仕入コスト増により売上総利益率が低下
- ・ 広告宣伝費、人件費等の販管費の増加もあり減益

※4-3月 対USD平均レート(参考) 前期112.37円 → 当期135.46円

スポーツ用品事業セグメント別売上高・営業利益

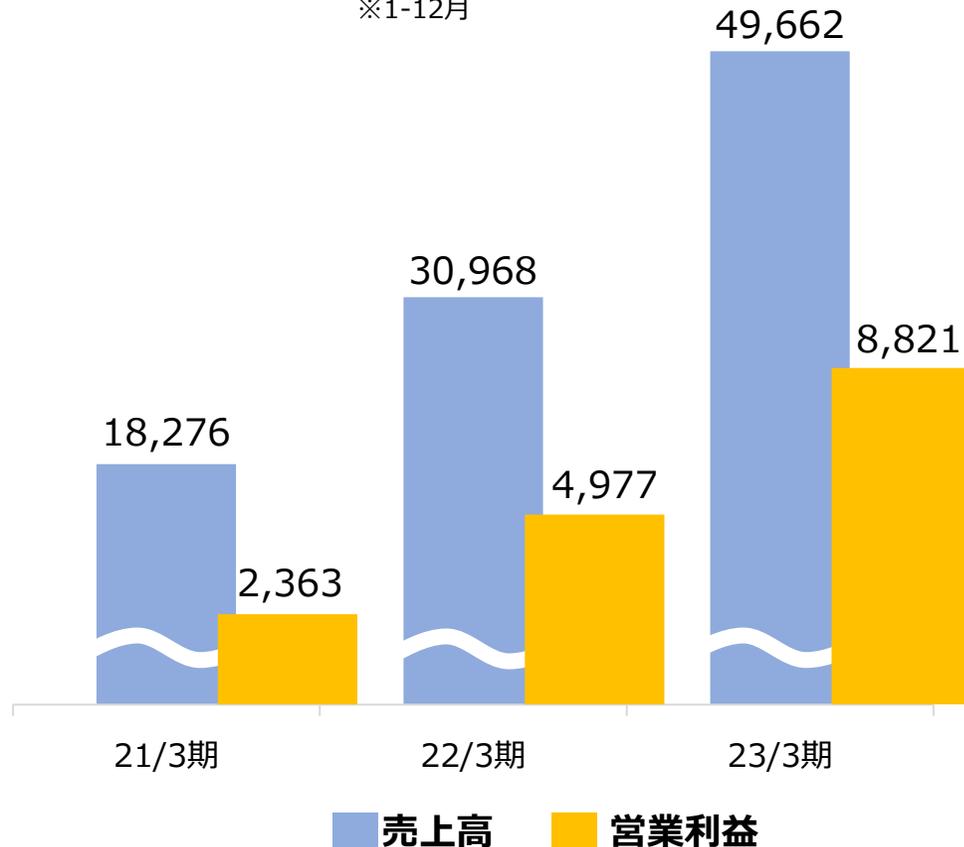


アジア

(単位：百万円)

為替レート	21/3期	22/3期	23/3期
RMB	15.47	17.02	19.47
TWD	3.61	3.92	4.40

※1-12月



売上高 (前期比 +60.4%)

- ・ 中国
 - 前期からスポーツ需要の高まりとバドミントンの盛り上がり継続
 - 体験型イベントや大会の開催により各種目で競技のすそ野拡大
 - 4-5月(2Q)、12月(4Q) にコロナ影響はあったが限定的
 - 円安により円換算が業績を上押し
- ・ 台湾
 - 全国大会や地方大会の開催、国際大会での地元選手活躍によりバドミントン市場が盛り上がり増収

営業利益 (前期比 +77.2%)

- ・ 中国におけるマーケティング投資により広告宣伝等の販管費増加
- ・ 増収による売上総利益の増加により大幅な増益

※当連結会計年度の期首より、テニスボール製造のYONEX TECNIFIBRE CO., LTD. (タイ)の業績をアジアセグメントに計上

スポーツ用品事業セグメント別売上高・営業利益

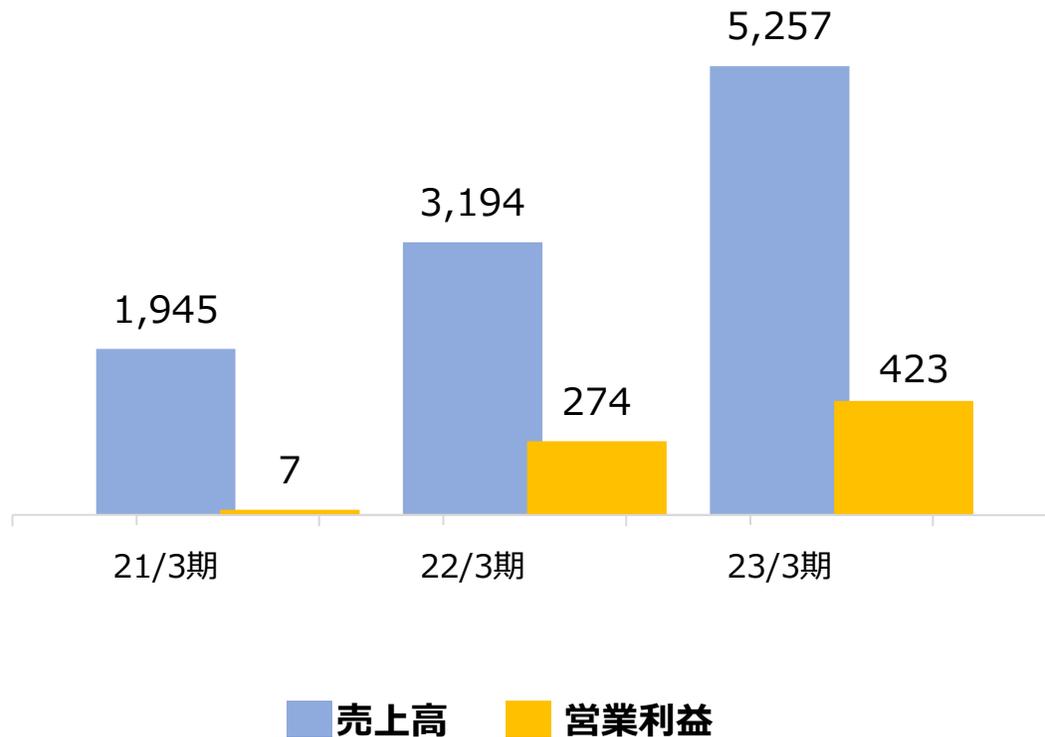


北米

(単位：百万円)

為替レート	21/3期	22/3期	23/3期
USD	106.81	109.79	131.42

※1-12月



売上高 (前期比 +64.6%)

- ・ バドミントンは施設やクラブ活動の再開により販売増加
- ・ テニスは市場全体で在庫が増加したことにより増加率は前期比で落ち着いたものの、販売は引き続き好調
- ・ 円安により円換算が業績を上押し

営業利益 (前期比 +54.3%)

増収による売上総利益の増加が、広告宣伝費や人件費等の販管費の増加を上回る

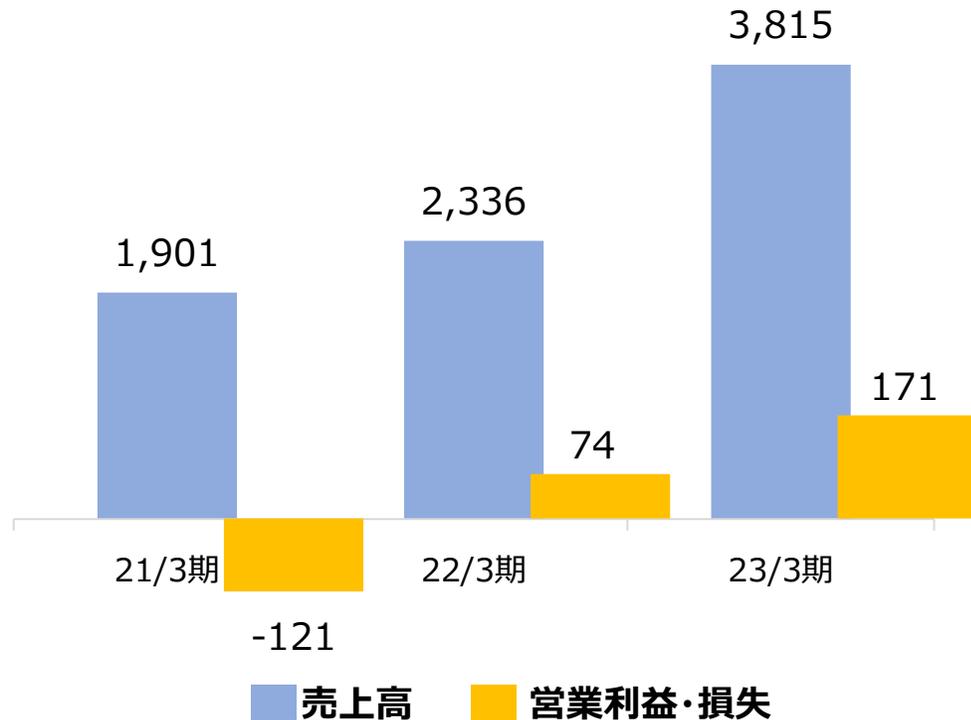
スポーツ用品事業セグメント別売上高・営業利益



ヨーロッパ (単位：百万円)

為替レート	21/3期	22/3期	23/3期
EUR	121.80	129.88	138.03
GBP	137.07	151.07	161.91

※1-12月



売上高 (前期比 +63.3%)

- ・ バドミントンは施設の再開と国際大会の開催、マーケティング施策の奏功により市場が活性化し販売増大
- ・ テニスも堅調な需要でラケットを中心に販売伸長

営業利益 (前期比 +128.8%)

増収により売上総利益が増加し、広告宣伝費や人件費等の販管費の増加を上回る

種目別売上高



2023年3月期

(単位：百万円)		国内	増減	前期比	海外	増減	前期比	合計	増減	前期比	構成比
スポーツ用品事業	バドミントン用品 海外売上高比率：前期比	11,393	+2,133	+23.0%	53,899 82.6%: +4.0pt	+19,858	+58.3%	65,292	+21,991	+50.8%	61.0%
	テニス用品 海外売上高比率：前期比	7,291	+676	+10.2%	10,204 58.3%: +15.8pt	+5,320	+108.9%	17,495	+5,997	+52.2%	16.3%
	ゴルフ用品 海外売上高比率：前期比	814	+104	+14.8%	1,189 59.4%: +6.2pt	+383	+47.5%	2,004	+487	+32.2%	1.9%
	その他 ウェア・アクセサリ等 海外売上高比率：前期比	12,113	+914	+8.2%	9,580 44.2%: +7.5pt	+3,078	+47.4%	21,694	+3,993	+22.6%	20.3%
スポーツ施設事業		533	+64	+13.7%	—	—	—	533	+64	+13.7%	0.5%
合計 海外売上高比率：前期比		32,146	+3,893	+13.8%	74,873 70.0%: +7.9pt	+28,640	+61.9%	107,019	+32,534	+43.7%	100.0%

バドミントン用品：バドミントンラケット、シャトルコック、バドミントンストリング、バドミントンシューズ
 テニス用品：テニスラケット、ソフトテニスラケット、テニスストリング、ソフトテニスストリング、テニスシューズ、テニスボール
 ゴルフ用品：ゴルフクラブ、ゴルフシャフト、ゴルフウェア、ゴルフバッグ、ゴルフシューズ、ゴルフアクセサリ等
 その他：テニス・バドミントンウェア、バッグ、アクセサリ、ウォーキングシューズ、スノーボード、アスレチックウェア、ランニングシューズ、スポーツサイクル等

※海外代理店向け輸出・仲介売上は海外売上高に含む

2024年3月期 通期業績予想



2023年3月期の水準をベースとして緩やかに成長を維持し、
中長期の成長に向けた基盤づくりに取り組む

- ・ スポーツや健康の価値が見直される中、スポーツを楽しむ人々は世界中で増加する想定
- ・ インフレや景気減速懸念、地政学リスク等の先行き不透明な経営環境は継続の見込み
- ・ 利益面はマーケティングと人財への積極的な投資と、設備投資に伴う減価償却費の増加を加味

為替 レート	23/3期 実績	24/3期 予想
RMB	19.47	19.0
TWD	4.4	4.3
USD	131.42	135
EUR	138.03	140
GBP	161.91	160

(単位：百万円)	23/3期 実績		24/3期 予想		23/3期比	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	50,092	107,019	57,000	116,000	+13.8%	+8.4%
営業利益	7,116	10,063	6,200	10,700	-12.9%	+6.3%
営業利益率	14.2%	9.4%	10.9%	9.2%	-3.3pt	-0.2pt
経常利益	7,796	9,961	6,200	10,700	-20.5%	+7.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	5,595	7,331	4,400	7,800	-21.4%	+6.4%

- 基本方針：安定的かつ適正な配当水準を維持
- 23/3期：期末配当は普通配当5円に特別配当2円を追加し7円を予定
これに伴い年間配当金は13円を予定
- 24/3期予想：年間配当金14円を予定（中間配当7円/期末配当7円）

	22/3期 実績	23/3期 中間配当実績/ 期末配当予定	24/3期 予想
第2四半期末	5円	6円	7円
普通配当	3円	5円	7円
特別配当	1円	1円	—
記念配当	1円	—	—
期末	5円	7円	7円
普通配当	3円	5円	7円
特別配当	2円	2円	—
合計	10円	13円	14円

參考資料

セグメント別売上高推移



(単位：百万円)	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
日本（国内+海外代理店向け）	38,742	38,119	29,009	37,515	47,750
アジア（子会社）	17,231	18,835	18,276	30,968	49,662
北米（子会社）	2,205	2,212	1,945	3,194	5,257
ヨーロッパ（子会社）	2,418	2,286	1,901	2,336	3,815
施設事業	500	512	422	469	533
合計	61,097	61,967	51,554	74,485	107,019

日本セグメント：国内、子会社担当地域以外で販売する海外代理店向け輸出・仲介売上（東南アジア、インド、韓国、デンマーク等）
アジアセグメント：中国・台湾子会社、インド・タイ子会社（製造）
北米セグメント：北米子会社（アメリカ・カナダ）
ヨーロッパセグメント：イギリス・ドイツ子会社

地域別（仕向地別）売上高推移



(単位：百万円)	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
日本国内売上高	29,990	29,350	22,766	28,252	32,146
海外売上高	31,107	32,616	28,787	46,232	74,873
アジア地域	24,488	26,009	23,181	38,095	59,122
北米地域	2,205	2,212	1,945	3,194	5,263
ヨーロッパ地域	3,877	3,760	3,131	3,484	8,662
その他	536	633	529	1,458	1,824
合計	61,097	61,967	51,554	74,485	107,019
海外売上高比率	50.9%	52.6%	55.8%	62.1%	70.0%

日本：スポーツ施設事業を含む日本国内

アジア地域：中国、台湾、東南アジア、韓国、インド他

北米地域：アメリカ、カナダ

ヨーロッパ地域：ドイツ、イギリス、デンマーク、フランス他

**この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。**